

令和7年度 第1回村上市DX推進本部会議

令和7年4月28日

村上市DX推進方針の確認

(1) 目指すべき姿

「スマートむらかみ」の実現

目指すべき姿

- ✓ 誰もがメリットを享受できるデジタル化
- ✓ 市民の利便性・快適性向上
- ✓ 安心・安全な暮らしの実現

取組の考え方

- 生産性の向上
- 職員の働き方改革
- 行政サービスの抜本的見直し
- 前例主義からの脱却
- ICTの積極的活用
- 地域デジタル化の推進

(2) 重点項目と取組事項

重点項目		取組事項
1 村上市DX推進のための土台づくり		①機運醸成 ②実行計画の策定
2 自治体DX	(1)便利な行政サービスの提供	①行政手続のオンライン化 ②窓口サービス改革 ③マイナンバーカードの普及促進
	(2)行政機能の効率化と組織の変革	①自治体情報システムの標準化・共通化 ②業務改革(BPR)への取組 ③AI・RPAの利用促進 ④テレワークの推進 ⑤会議・コミュニケーション改革 ⑥ペーパーレスの推進
	(3)厳格なセキュリティ対策	①セキュリティ対策の徹底
3 地域DX	(1)個々のライフスタイルに適應した地域社会の実現	①デジタルデバイド対策 ②オープンデータの活用
	(2)市民に対する行政サービスのデジタル化(暮らしのDX)	①健康・福祉のDX ②子育てのDX ③防災のDX ④生活環境のDX ⑤学びのDX ⑥地域交通のDX
	(3)産業全体のデジタルトランスフォーメーション(産業のDX)	①農林水産業のDX ②商工業のDX ③観光のDX

(2)職員のみなさんに意識してもらいたいこと

拡散
希望

①いかに「**樂をする**」かを考える

- ・通常業務に忙殺されDXへ意識と意欲を向ける余裕がない
⇒待っていても時間・余裕は生まれない。

「DXへ意識と意欲を向ける余裕」は自分で作る！

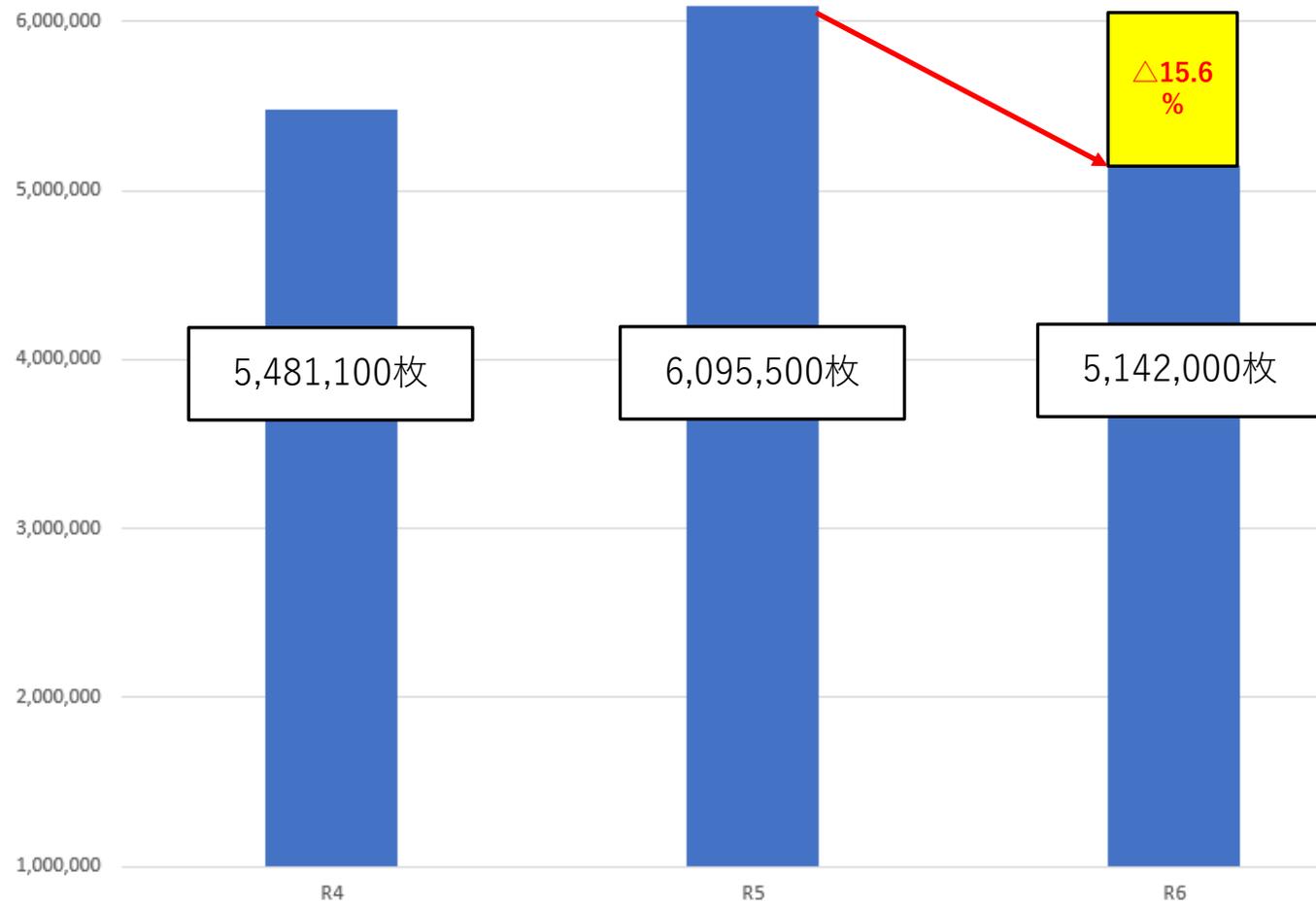
②考えた(思った)ことをまわりに「**発信する**」

- ・コミュニケーションが「DXへの意識と意欲を向ける余裕」をお互いに与え合うことになる
⇒DXに向き合うためのコミュニケーション改革

③発信しやすい、取り組みやすい「**雰囲気づくり**」

- ・DX推進は誰かがやるものではなく、みんなでやるもの・・・課員の協力が不可欠

(1) 令和6年度ペーパーレスの取組結果を報告します



おかげさまで、令和5年度比
953,500枚削減
(15.6%削減)

を達成しました！

1人1日
3枚削減



コピー用紙1枚≒0.1mm
10,000枚で約1m

953,500枚では...
約95m

(2) デジタルデバインド対策を任務とする地域おこし協力隊員が着任します

- ① **任 務**
- ・ 高齢者等を対象としたスマホ教室の企画・開催
 - ・ スマホ操作相談会の企画・開催
 - ・ 情報リテラシー・モラル向上を目的とする講座等の企画・開催
 - ・ その他村上市のデジタル化に関する企画、提案
- ② **着 任** 令和7年6月1日
- ③ **隊 員** 20歳代 女性 新潟市から転入

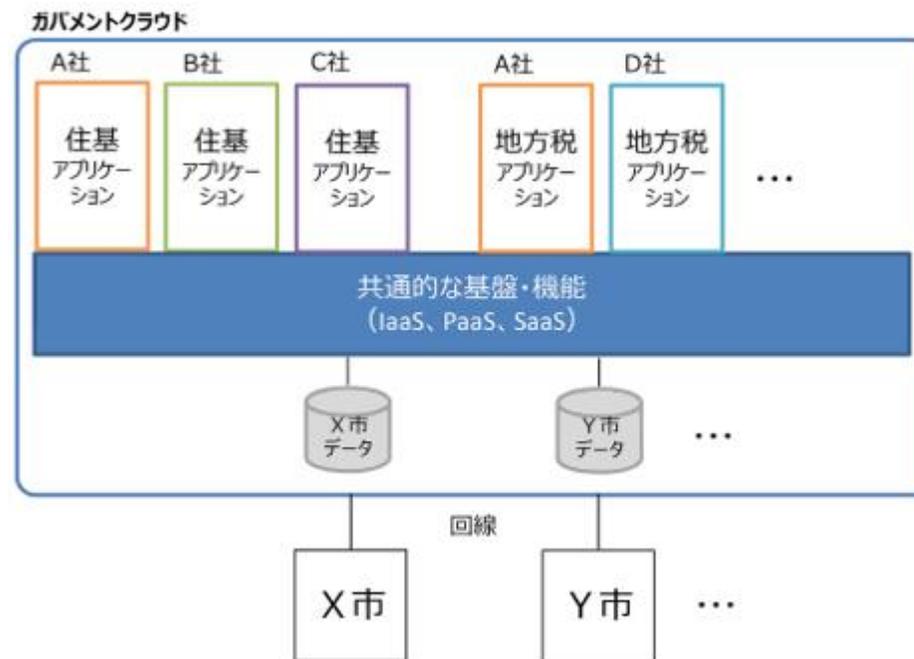


(3)令和7年度におけるシステム標準化のスケジュールをお知らせします

①システム標準化とは？

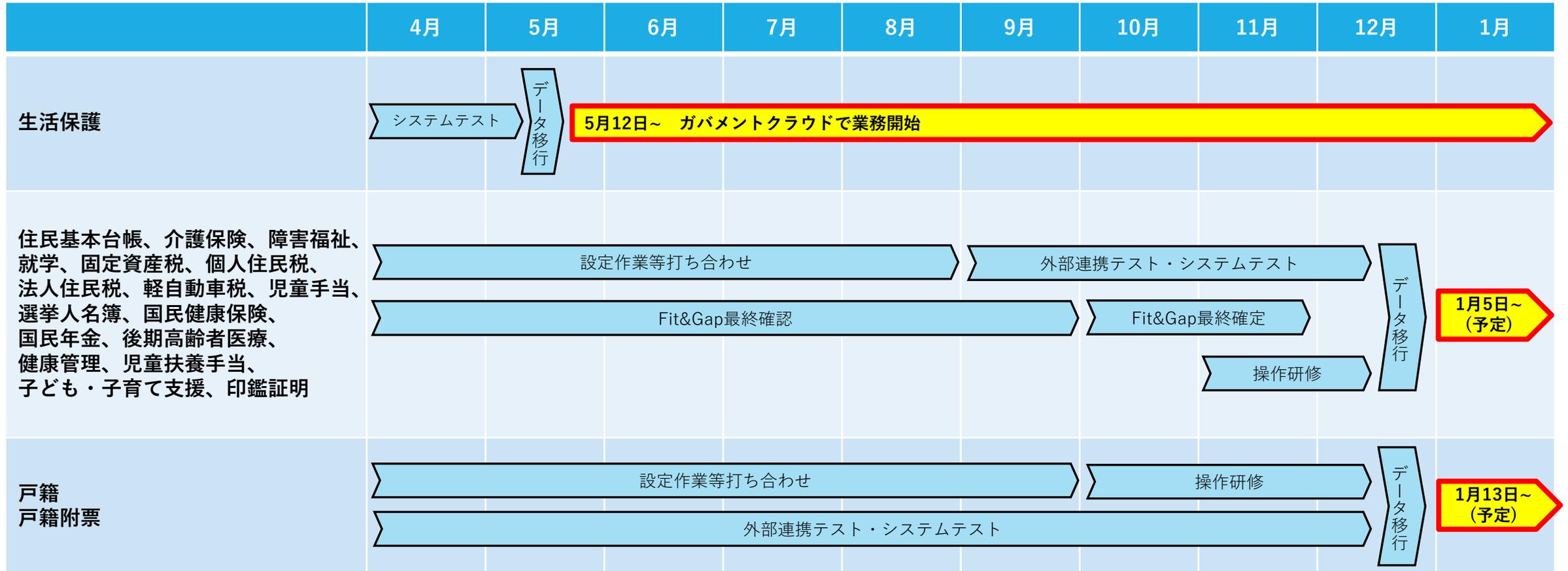
自治体の基幹システムにおいて、住民サービスに直結する20業務を国の示す標準仕様に合わせた標準化システムへ移行する取組。2025年度までに全ての地方公共団体が国が用意するクラウド(ガバメントクラウド)上に構築されたアプリケーションを利用し、業務の効率化や住民サービスの向上を図ること目的としている。

- | | |
|---------|------------|
| ①住民基本台帳 | ⑪国民健康保険 |
| ②介護保険 | ⑫国民年金 |
| ③障害福祉 | ⑬後期高齢者医療 |
| ④就学 | ⑭生活保護 |
| ⑤固定資産税 | ⑮健康管理 |
| ⑥個人住民税 | ⑯児童扶養手当 |
| ⑦法人住民税 | ⑰子ども・子育て支援 |
| ⑧軽自動車税 | ⑱戸籍 |
| ⑨児童手当 | ⑲戸籍附票 |
| ⑩選挙人名簿 | ⑳印鑑登録 |



報告事項

②令和7年度のスケジュール



※令和7年度における標準化対象システム業務担当者について後日照会します。(5月末頃に担当者会議を予定しています。)

(1)村上市DX推進方針を改定します

国の自治体DX推進計画【第3.0版】(2024年(令和6年)4月24日公開)及び【第4.0版】(2025年(令和7年)3月28日公開)に基づき、内容を変更するもの。

(村上市DX推進方針【2.3版】⇒村上市DX推進方針【4.0版】)

①改定の主なポイント

- ・ **BPR(業務改革)の取組の徹底**

自治体DXを進めるにあたっては、従来のやり方を前提にすることなく、業務内容や業務プロセス等を抜本的に見直し、再構築するBPR(業務改革)の取組みが重要

- ・ **デジタル人材の育成**

職位に応じて身につけるべきデジタル技術等の知識・能力・経験、研修体系等を設定した人材育成方針を持つことが望ましい。

②改定のスケジュール



▲
いまここ

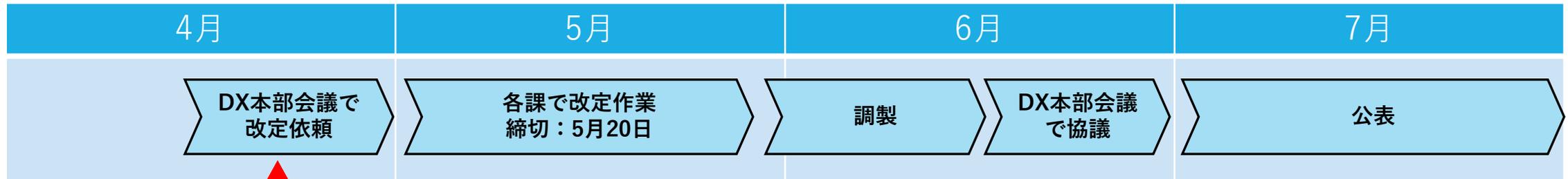
(2)村上市DX実行計画を改定します

村上市自治体DX実行計画及び地域DX実行計画を改定するもの。

①改定の主なポイント

- ・ 搭載事業の令和6年度の進捗状況により内容の変更・追加・削除

②改定のスケジュール



いまここ

③本部会議後、依頼文を発出します

- ・ 作業の締切: 5月20日(火)

(3)令和7年度DX推進員の選出をお願いします

①DX推進員からの意見等

- ・多くの業務がある中で推進員の役割を与えられても、優先順位としてはどうしても低くなる。
- ・他のDX推進員とのコミュニケーションはなかなかとりにくい。
- ・「DX」という言葉に引っ張られてシステム化を目的とするのではなく「業務改善・業務量の平準化」の目線を大事にしたい。
- ・効率的にDXを推進するため、課長補佐、係長級職員を対象にDX研修会を行ってほしい。全職員対象の研修もあってほしい。
- ・DX推進には課員の協力が不可欠。
- ・紙に印刷して残しておかないとすぐ見られないし不便と言う人がいると何も改善されない。



- ・P3「職員みなさんに意識してもらいたいこと」の周知と徹底
- ・職階に応じたDX研修の企画



②令和7年度のDX推進員

- ・みんなで進めるDXを実践するため、令和6年度同様、**各室1人**でお願いしたい。

③令和7年度のDX推進員にやってほしいこと

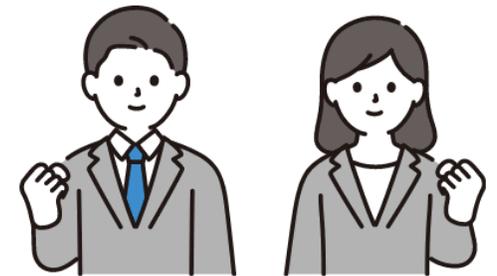
○課・室で情報を共有しよう

- ・研修資料などを課・室内で共有し意識と知識の底上げを図る。
- ・いい事例はTTP(てってい てきに パクる)



○課・室で業務改善を進めよう

- ・課内で「そもそも、これ必要ですか?」「ここまでやる必要ありますか?」と思うものを各自LOGOチャットに3つずつ書き出して、やめたいものを投票で選ぶ。 } 5月~7月
- ・室の業務のうち、1業務について「業務フロー」を作ってみよう。 } 8月~9月
⇒後ほど配布するフォーマットをもとに「業務フロー」を作成しデジタル化推進室と一緒に改善策の検討



CIO補佐官から

(1)電子申請システム操作講習を行います

行政手続きのオンライン化を進めるため、職員に対して電子申請システムの操作講習会を行います。本庁での開催に加え、支所等でも開催を予定しています。

